

4. ダニによるフィトンチッドの防虫効果試験

実験条件と方法

日時：2004年9月16～17日
 検査機関：(株)ピアブル/防ダニ部会認定検査機関
 実験装置：外側ガラスシャーレ(直径90mm深さ20mm)
 生存ダニ数10,000匹
 内側ガラスシャーレ(直径41mm深さ16mm)
 内側ガラスシャーレ中央に誘引用の餌を配置。
 ダニの種類：ケナガコナダニ(約10,000匹)

24時間後、フィトンチッドあり/なしの餌のある内側シャーレのダニの侵入数をそれぞれ計測した。

実験結果

フィトンチッドあり内側シャーレ侵入数3.7匹、フィトンチッドなし内側シャーレ侵入数1584.3匹(3回平均)で忌避率99.8%を示した。



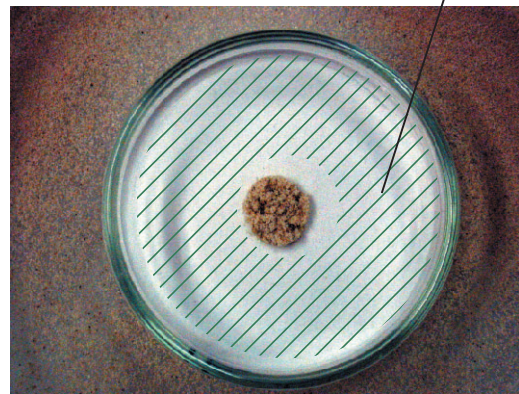
試験後内側シャーレ拡大写真



フィトンチッドなし

ダニが侵入し、餌を食い散らかしています。

フィトンチッド塗布部



フィトンチッドあり

ダニはほとんど侵入なし。

フィトンチッドのダニによる忌避効果試験(2)ヤケヒョウヒダニ

実験条件と方法

日時：2004年9月16～17日
 検査機関：(財団法人)日本紡績検査協会
 防ダニ加工製品協議会指定検査機関
 実験装置：恒温恒湿器(湿度75±5%、温度25±2℃)
 外側ガラスシャーレ(直径90mm深さ20mm)
 内側ガラスシャーレ(直径45mm深さ15mm)
 内側ガラスシャーレ中央に誘引用の餌を配置。
 ダニの種類：ヤケヒョウヒダニ(約10,000匹)

24時間後、フィトンチッドあり/なしの餌のある内側シャーレのダニの侵入数をそれぞれ計測した。

実験結果

フィトンチッドあり内側シャーレ侵入数201匹、フィトンチッドなし内側シャーレ侵入数1517匹(3回平均)で忌避率86.8%を示した。